

新未来学会 未来研究発表会(2007年)

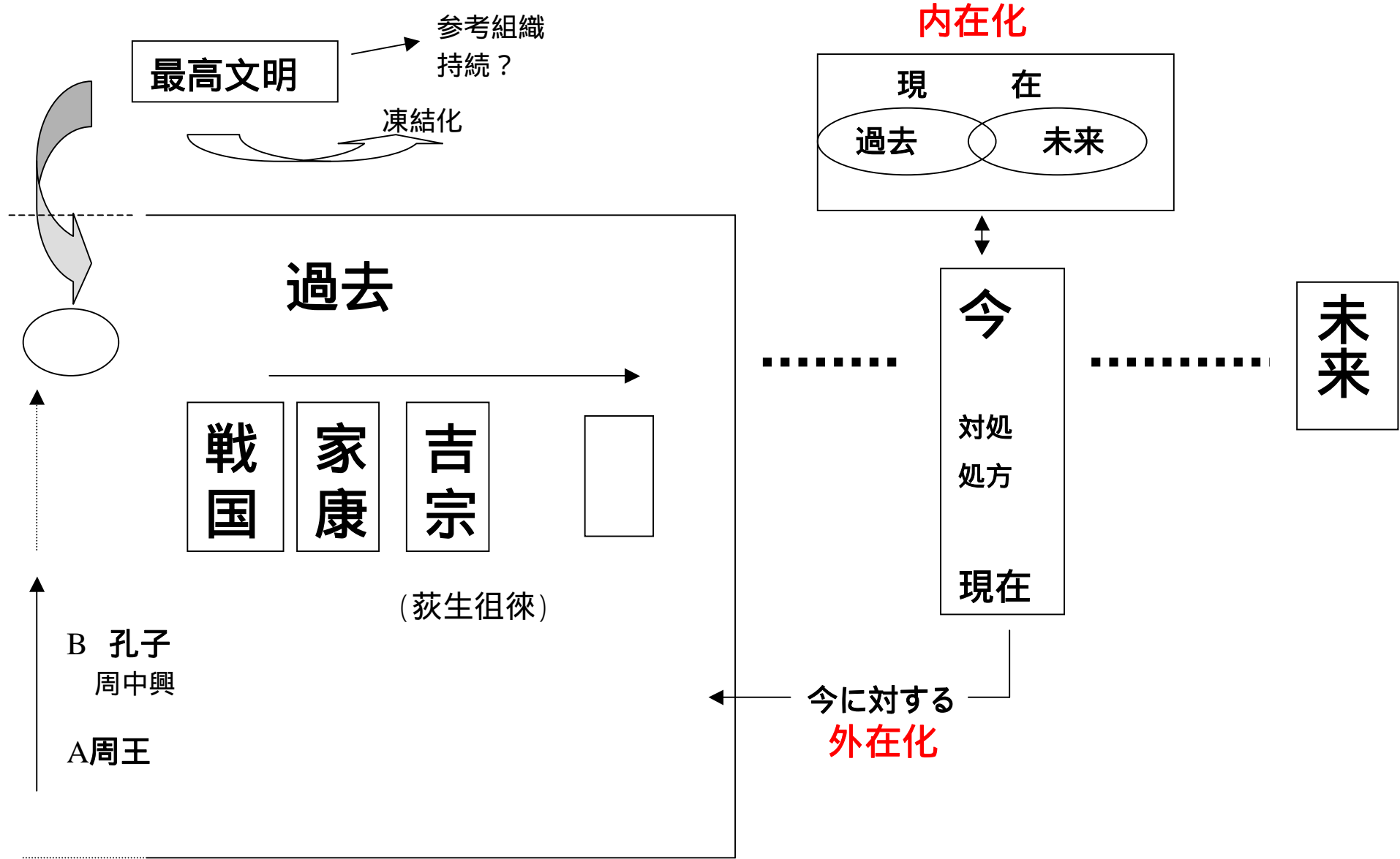
第2セッション「江戸から未来を読む」基調講演

知識社会の形成

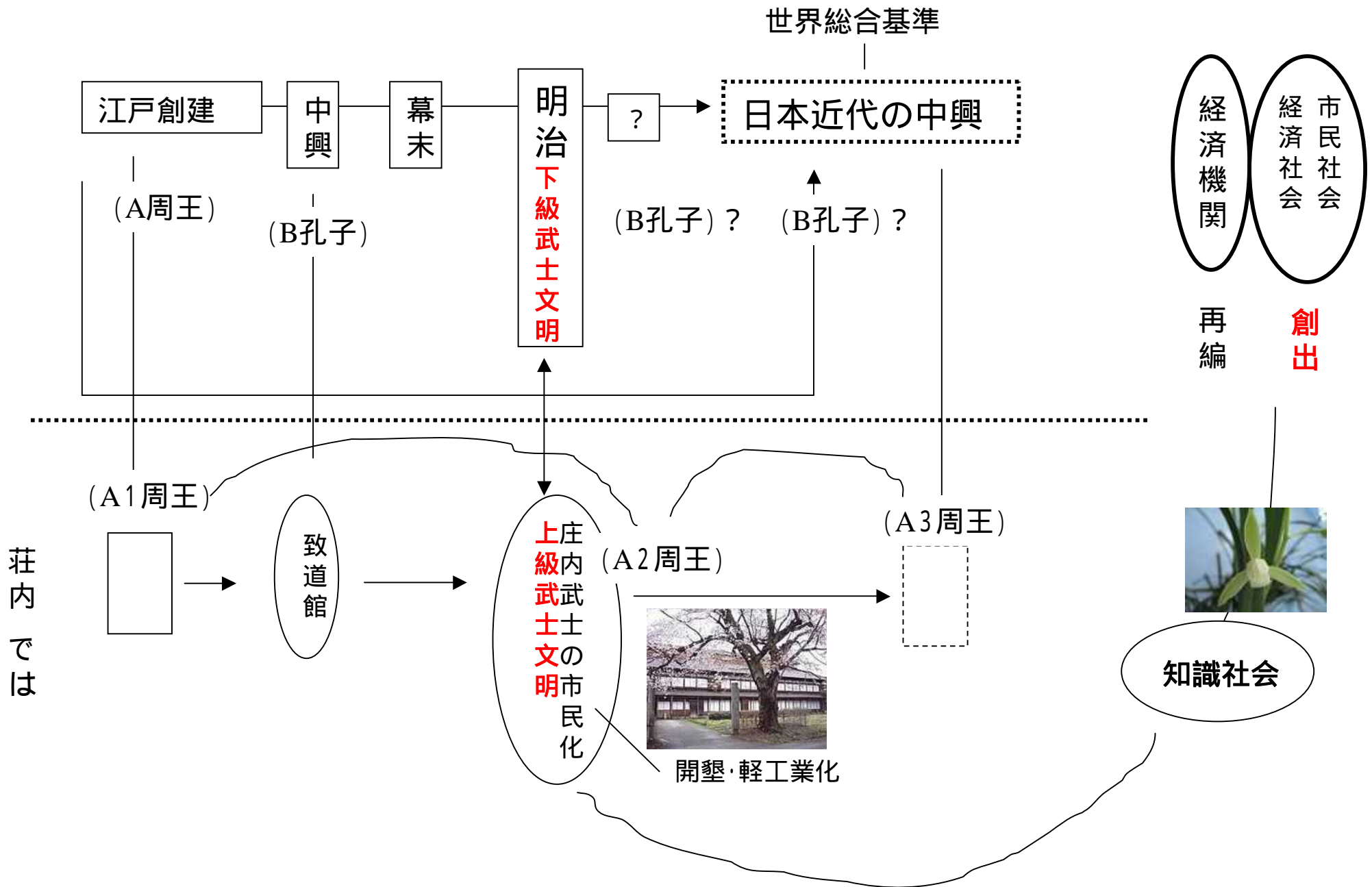
2007年11月10日

慶応大学教授 松村宏
(比較文明学説史・徂徠学)

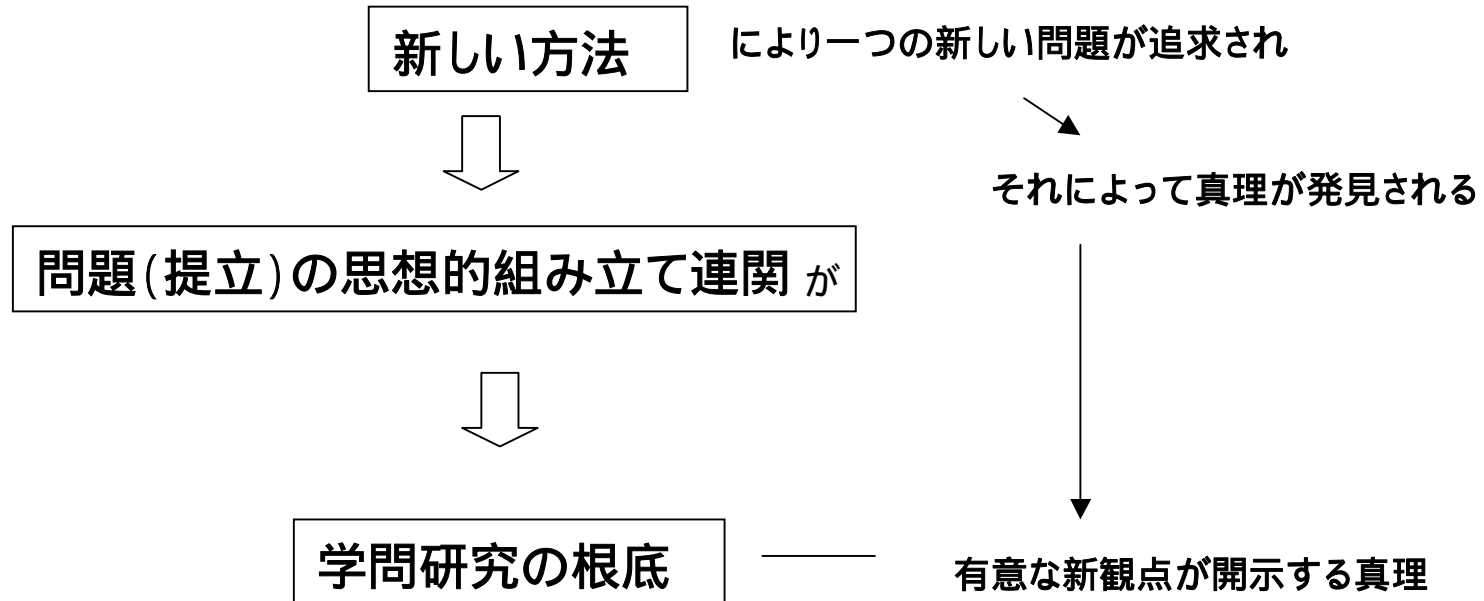
未来の認識



知識社会と江戸期以降の転変

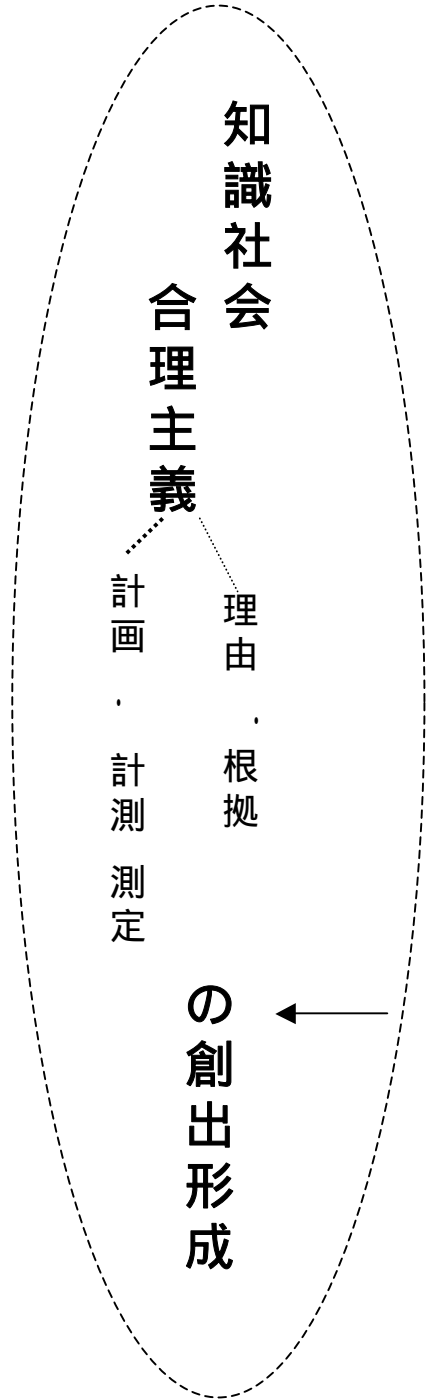


3段階のロジック



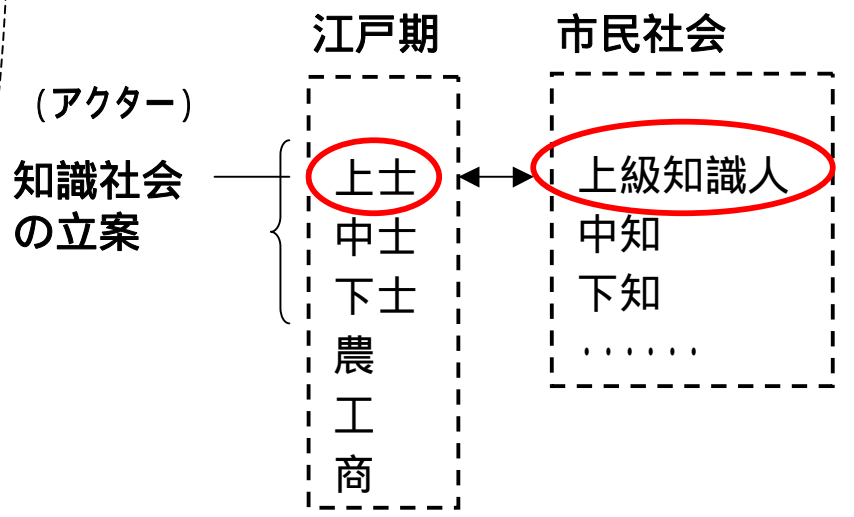
内聖外王説
上下分限
協調
支配服従
共同体

漢唐宋明清儒学からの近現代的展開
日本古学派儒学



- 漢唐…古註学
- 宋…朱子学
- 明…陽明学
- 清…折衷学
考証学

超越外王説

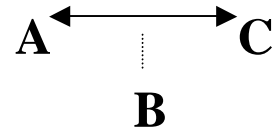


プロセス

結果(暫定的)理解——原因究明——結果理解の深化【内在的 = 理解可能か?】
【外在的 = 】

↓
プロ信仰倫理———資本主義の精神(蓄積投資)———富———現代理解——自分と先祖
A B (運用営利) C D

A、B、C、(異質性・変質性)



意図セル逆説



F
意図セル逆説
近代的方法

逆説の意味

プラグマティックな関係
連関の切断
新目的創造世界化に
よる
...

ヲ考エテイタカドウカ

“方法”: そのターム

• 意図的逆説の歴史的展望

(誘導的逆振)

風俗改革 - - - 迂遠策 - - - 未来への迂回 - - - 方法 ← → 直行
藩政改革 藩校 媒介・触媒

• 研究(教育)構造の逆転

よくあるのが平和な未来とそのための平和主義
便利な未来とそのための便利主義

人類の未来に何を目的結果として策定設定するかではなく
その目的結果の元となる方法を構築する事こそ未来の為になる

方法とは

手段と目的結果との圏外

集中と大転回・散開 - - - 集中運動と転回運動 - - -
資源の再編

外在超越 から外へ

目的・手法から 外へ